

**平成 27 年度
二宮町教育委員会
点検及び評価報告書
(平成 26 年度事業分)**



**平成 27 年 10 月
二宮町教育委員会**

目次

はじめに	1
平成 26 年度二宮町教育委員会基本方針	2
教育委員について	9
第 1 章 教育委員会の活動状況について	10
1 教育委員会議の運営状況（平成 26 年度）	
2 学校訪問	
3 研修	
4 その他の活動状況	
5 教育委員会議の公開	
6 教育委員会の活動状況 点検評価シート（別紙 1）	
第 2 章 教育委員会における主要事務の管理及び執行状況	21
1 教育総務課の主な事業	
2 生涯学習課の主な事業	
3 教育委員会の事務局の活動状況 点検評価シート（別紙 2）	
第 3 章 外部評価	34
参考資料.....	38
二宮町教育委員会点検及び評価実施規則	
二宮町教育委員会点検及び評価実施要領	

はじめに

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会において毎年、教育に関する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定、及び「二宮町教育委員会点検及び評価実施規則」に基づき作成されたものです。

1 点検及び評価取組みの趣旨

- (1) 教育委員会が管理及び執行する事業の取組み状況について、点検及び評価を実施することにより、より効果的・効率的な教育行政の推進を図ります。
- (2) 毎年、点検及び評価を実施することで、変化する社会経済情勢への対応が的確になされ、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用します。
- (3) 報告書を議会へ提出し、町民へ公表することにより、町民への説明責任を果たし、町民との信頼関係が保たれます。

2 点検及び評価の対象事業

平成 26 年度の事業を対象とし、大きく次の 2 区分とします。

- ① 教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況を「教育委員会の活動状況」とします。
- ② 教育委員会が管理及び執行している事務事業並びに教育長に委任している事務のうち重点施策及び主たる取り組みを「教育委員会における主要事務の管理及び執行状況」とします。

3 点検及び評価の方法

- (1) 教育委員会による点検及び評価
対象となる事業の取組状況、成果、今後の改善点等をまとめます。
- (2) 外部による点検及び評価についての意見
外部から見た検証・意見等を報告書の内容全般についてまとめます。

4 点検及び評価結果の公表等

点検評価終了後、その結果を取りまとめた報告書を二宮町議会に提出するとともに、報告書を町民へ公表します。

平成 26 年度二宮町教育委員会基本方針

教育は人格の完成を目指し、個性を尊重しつつ、自立した人間を育て、幸福な生涯を実現する上で不可欠なものです。社会が急速な変化を遂げる中、将来を担う子どもたちには、自立し、他と協調しながら生涯を切り拓いていく力が求められています。

二宮町教育委員会では、総合的な教育力の向上を目指し、子どもたちの健やかな成長を社会全体で支えるとともに、町民一人ひとりが自らの内面を磨き、社会に参画する意欲を高め、生活や職業に必要な知識・技能等を習得するために、生涯にわたって学習することのできる環境の整備と学習の機会の提供を目指した生涯学習を推進していきます。

また、施策の推進にあたっては、第5次二宮町総合計画の重点方針の一つである「子育て・子育て支援と教育・学習環境の充実」と連携して事業を推進します。

今年度の重点施策

- 1 教育環境の充実
 - (1) 災害対策の強化（児童・生徒の安全確保）
 - ① 防災教育の強化
 - ② 地震等、災害発生時の安全の確保
 - (2) 信頼関係の構築
 - ① 「一声運動」を通じた児童・生徒指導の充実
 - ② 保護者・地域との連携強化
- 2 社会性を育てる教育の推進
 - (1) コミュニケーション能力の育成
 - ① 英語をはじめとする各教科等における言語活動の充実
 - ② 「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」の推進
 - (2) 地域社会とともに生きる力の育成
 - ① 郷土愛の育成
 - ② 挨拶、集団行動を通じた社会性の育成
 - ③ キャリア教育の充実
- 3 社会全体による子育て
 - ① 放課後子ども教室の実施（試行）
- 4 図書館事業・運営の見直し
 - ① 子育て世代が魅力を感じる図書館
 - ② 図書館運営の効率化の推進

1 学校教育

学校教育は生涯学習の基礎を培うものです。二宮町教育委員会では、生涯を通して豊かな心を持って生活できるよう、教育の「不易」と「流行」の視点に立った教育課程の編成に努め、人間尊重の精神を基盤とした、「思いやりの心」「社会への奉仕」「心身の健康」「学習意欲」のバランスのとれた「生きる力」を育む教育を進めています。

特に本年度は、防災の視点をはじめとする「教育環境の充実」、「社会性を育てる教育の推進」を基本とし、各学校では、「子どもたちの育つ力」「家庭・学校・地域の育む力」「行政の支える力」をあわせ、自ら学び自己実現をめざす児童・生徒の育成に努めます。

<学校運営について>

① 児童・生徒の安全確保

- ・「二宮町教育委員会学校防災方針」に基づき、各学校において「防災マニュアル」を適切に運用し、児童・生徒の安全確保に努めます。(重点施策 1-(1)-②)
- ・防災教育の強化を図り、児童・生徒の危険予知能力や危険回避力など、自己管理能力の育成に努めます(重点施策 1-(1)-①)
- ・「二宮町児童・生徒安全対策協議会」等を通し、地域や関係機関と連携した安全体制をより一層整備します。

② 児童・生徒指導

- ・不登校・ひきこもり・いじめ・暴力行為などの問題行動の未然防止・早期発見・早期指導に向けて、教育相談等を充実させるとともに、教職員と児童・生徒との間あるいは児童・生徒同士の様々な場面における声かけ等を通じて日頃の関係性を築くことに努めます。(重点施策 1-(2)-①)
- ・教職員の共通理解、家庭や地域・関係機関との連携を大切にされた指導を進めます。
(重点施策 1-(2)-②)
- ・児童・生徒の体験活動等を通し、コミュニケーション能力や社会性を育成し、問題行動の未然防止に努めます。(重点施策 2-(2)-②)

③ 人権教育の推進

- ・全教育活動を通して、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、人権感覚を十分身につけるための指導の充実に努めます。
- ・教職員の人権感覚をさらに磨き、一人ひとりの児童・生徒を尊重し、認め、励まし、それぞれのよさを最大限に伸ばす教育の充実に努めます。

④ 郷土愛の育成(重点施策 2-(2)-①)

- ・地域の行事への積極的な参加を促し、郷土を愛する気持ちを育てます。
- ・学習活動に地域教材を使い、地域を知る教育を進めます。

⑤ 地域教育力の推進(重点施策 2-(2)-①)

- ・学習協力者、体育・文化活動指導員等の地域教育力による支援を推進します。
- ・総合的な学習の時間、ボランティア活動、職場体験など、体験学習を生かした教育を推進します。

⑥ 「幼・保・小」、「小・中」の連続性を大切にされた指導

- ・「幼・保・小連携推進委員会」の充実に努め、学びや育ちの連続性を大切にされた幼児教育から学校教育への円滑な接続を図る教育を進めます。

- ・「かながわ学びづくり推進地域事業」に取り組み、小・中学校の連携した教育を進めます。
(重点施策 2-(1)-②)

⑦ 情報機器の活用

- ・情報機器や学校間ネットワークを更新することにより、事務の効率化や学校間の情報交換・情報共有を図ります。
- ・教職員が児童・生徒に向き合う時間を確保し教育の質的向上を図るため、「校務の情報化」について検討していきます。

<教科指導について>

① 「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」の推進 (重点施策 2-(1)-②)

- ・校内研究のさらなる充実を図ります。
- ・校種を越えて互いに学び合う教職員集団の育成に努めます。
- ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりに努めます。

② コミュニケーション能力の育成 (重点施策 2-(1)-①)

- ・各教科等において言語活動の充実を図ります。
- ・小学校外国語活動・中学校英語科においては、ALT(外国語指導助手)の活用等を通じて、コミュニケーション能力の育成に努めます。

③ 学習意欲の向上や学習習慣の育成

- ・問題解決の喜びを経験できる授業や、学ぶ意義を認識できる授業を実践し、自ら学習しつづけようとする学習習慣を育てます。
- ・児童・生徒の努力を認め、励まし、元気付ける評価等を工夫し学習意欲を育てます。

<その他の指導について>

① 道徳教育

- ・道徳の時間においては、生命の尊重、思いやり、規範意識など豊かな人間性を育むための、道徳的心情や実践意欲を育てます。
- ・家庭・地域と連携を図り、児童・生徒に手本を示す等、道徳的な実践のできる児童・生徒を育てます。

② 支援教育

- ・学校、家庭、関係機関等の連携のもとに支援体制を整え、支援を必要とする子どもたちの能力、個性を伸ばす教育を進めます。
- ・支援教育補助員の派遣や外国籍等児童・生徒への日本語指導、ことばの教室(そにつく)等、きめ細かな指導を進めます。

③ 進路指導 (重点施策 2-(2)-③)

- ・キャリア教育の充実を図り、児童・生徒一人ひとりが勤労観、職業観を身に付け、社会に貢献できる力を育てます。
- ・発達段階に応じ、児童・生徒一人ひとりが自己の将来の生き方や進路を主体的に選択できる能力・態度の育成に努めます。

④ 情報教育

- ・高度情報化社会に生きる児童・生徒の情報活用能力と情報モラルの育成に努めます。

⑤ 読書指導

- ・児童・生徒の読書活動が充実するよう、蔵書数を増やしたり、コンピュータによる貸し出しシステムを活用したりするなど、学校図書館の活性化を図ります。
- ・学校図書館に指導員を配置し読書指導をしたり、教育活動の中に読書の時間を取り入れたりするなど、読書習慣がつくよう努めます。

<施設について>

① 二宮町教育研究所における取組み

- ・学校教育の調査研究や教職員研修を実施し、教職員の資質向上を図ります。
- ・相談員を教育研究所に配置し、来所や電話、家庭訪問等による教育相談をより一層充実させます。
- ・教育研究所内の教育支援室においては、不登校児童・生徒への学習支援や生活支援をより一層進めます。

② 学校施設に関する取組み（重点施策 1-(1)-②）

- ・小・中学校の老朽化に伴い、安全・安心な施設整備に努めます。

③ 学校給食センターにおける取組み

- ・児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、望ましい食習慣を形成するため、食育の充実に努めます。
- ・給食センターの能率的な利用を工夫するとともに、手作りの心のこもった給食を一層充実させていきます。
- ・子どもたちが農業や農産物に親しみを感じるという視点から、地産地消を推進していきます。

2 生涯学習

二宮町教育委員会では、豊かで活力ある社会を築いていくために、「町民一人ひとりが、生涯いつでもどこでも自由に学習することができ、その成果が適切に評価されるような社会」すなわち、生涯学習社会の実現を目指します。

社会教育では、現在、都市化、核家族化、少子化、インターネット利用に伴う犯罪被害の増加など、親や子どもを取り巻く社会の変化の中で、地域や家庭の教育力の低下が課題となっています。このため、町民一人ひとりの人間形成の発達段階を通じた生涯学習を推進します。

図書館については、「二宮町定住促進行動計画（子育て編）」に基づき、子どもに合わせた行事や子育て支援関連事業の充実を図ってまいります。また、今年度より3カ年の計画でサービスや人員配置など図書館運営体制の見直しに着手し、町民の日常生活に役立つ図書館を目指します。

運動・スポーツでは、心身の健全な発達を促し、地域に明るく潤いに満ちた連帯感を醸成し、活力に満ちた「二宮町」を創り出すため、子どもから大人まですべての町民が「暮らしの中のスポーツ」を実践することができるよう生涯スポーツの普及振興に努めます。また、運動施設の利用促進、各種スポーツ・レクリエーション等への参加促進、スポーツ教室・講習会等の開催、指導者育成などを通して、町民相互の親睦と健康増進に努めます。

<社会教育について>

① 人権教育の推進

- ・様々な人権問題に対し、人権意識を育むために人権教育研修会等を開催し啓発を行います。

② 青少年の健全育成

- ・青少年指導員との協力・連携により、「二宮町ジュニアリーダー養成研修会」を開催し子ども達のリーダーの養成を行います。
- ・「子ども野外研修」を通じ、子ども達の生きる力を育みます。また、「中学生交流洋上体験研修」並びに「青少年交流キャンプ」を実施し、広い視野を持った青少年を育成します。
- ・青少年環境浄化推進員との連携により、「青少年の健全育成キャンペーン」、「有害図書の区分陳列の徹底」を実施し、青少年の社会環境浄化に努めます。
- ・「ふたみ記念館」の活用、「文化祭」への出展、「ミュージックフェスタ in にのみや」への出演などを通じ、青少年が地域文化に触れる機会を確保します。

③ 社会全体による子育て

- ・「子育てゼミナール」を開催し、家庭での子育てや教育を見つめ直す機会を確保します。
- ・子どもの居場所づくりとして、平日の放課後に学校施設を利用し「放課後子ども教室」事業を試行により実施します。当面は、ニーズの収集や事業の在り方を検討しながら事業の推進に努めます。(重点施策 3—①)

④ PTA との連携

- ・家庭での子育てや教育を見つめ直し、子どもを育てることの大切さを家庭と学校が共有できるように、PTA 主催の「家庭教育学級」に対して補助を行います。
- ・子どもたちの安全・安心のために、二宮町 PTA 連絡協議会と連携し「こども SOS のいえ」を推進します。

⑤ 地域文化の向上

- ・「湘南二宮バーチャル郷土館」の内容をより一層充実します。
- ・町出身の画家二見利節の絵画について、保存・展示に努めます。
- ・「民俗芸能のつどい」を開催し、郷土に伝わる伝統芸能の保存に努めることにより、郷土愛を育みます。(重点施策 2-(2)-①)
- ・町指定文化財や、貴重な資料などの保存に努めます。
- ・ラディアンホールの誇る「スタインウェイ」ピアノに気軽に触れ、日頃の練習成果を発表する機会作りのために、「ピアノマラソンコンサート」を開催します。
- ・町民による町民のための音楽祭として、「ミュージックフェスタ in にのみや」を開催します。

⑥ 学習機会の整備

- ・生涯学習情報誌「身近な余暇ガイド」の情報収集・更新を行い、学習相談に応えるとともに、「町民大学サポーター制度」の周知・活用を図ります。
- ・「町民大学」では、「生涯学習ボランティア」および「町民大学サポーター」との協同による事業をより一層推進します。
- ・「町民大学」学習者が、継続して学習できるよう、サークル化や、受講者による学び返しを推進します。

⑦ 学習環境の整備

- ・生涯学習センターホール系統の空調機械設備修繕を行います。

<図書館について>

① 蔵書検索システムの活用

- ・「インターネットの蔵書検索システム」、「県内図書館の相互貸借システム」を活用し、予約・リクエスト等資料の迅速な提供に努めます。

② 小・中学校との連携・読書推進

- ・町立小・中学校図書館担当者と情報交換を行います。また、図書館利用を促進するため、小・中学校へ図書館利用、見学の実施を呼びかけます。
- ・夏休み前に「小・中学生にすすめたい本」リストを作成・配布します。

③ 子育て支援の推進

- ・「ブックスタート事業」（子ども育成課共催）を継続実施します。「あかちゃんをはじめてであう絵本」を配布し図書館利用の促進を図るとともに、子育てに関する図書を集めた「子育て関連図書コーナー」や子育て情報を集積した「子育て情報コーナー」の充実を図ります。（重点施策4—①）
- ・子どもの年齢に合わせた行事や子育て支援関連事業を開催します。（重点施策4—①）

④ 図書館情報の発信

- ・「広報にのみや」「ホームページ」の活用や「図書館だより」を発行することにより、図書館活動や町の文化の発信としての記事づくりを進めていきます。

⑤ 地域資料・行政資料の収集・保存

- ・二宮に関する資料や行政資料を収集・保存し、町に関する情報を町民がいつでも閲覧できるように整備します。

⑥ 図書館資料の活用と蔵書の管理

- ・所蔵資料がさらに活用されるよう、書庫の本の紹介や時事に沿った展示コーナーで積極的に資料の紹介を行います。また、蔵書管理の徹底を図ります。

⑦ 図書館運営体制及びサービスの見直し

- ・今年度は、「図書館だより」の発行回数、地域文庫巡回、文学講座開催等を見直すことにより、効率的な図書館運営を推進します。（重点施策4—②）

⑧ 町民参加の図書館運営

- ・町民のボランティア参加により、図書館運営及びサービスの向上を目指します。（録音図書ボランティア、修理ボランティア、書架整理ボランティア）（重点施策4—②）

<社会体育について>

① 町民参加による大会の実施

- ・「町内一周継走大会」を実施し、体育協会主管のもと地域住民と青少年の交流親睦の充実を図り、住民参加を進めます。
- ・中学生による「少年少女ソフトバレーボール大会」を実施し、各地区の住民参加を得て、ふれあいによるスポーツ精神の高揚を高めます。
- ・「二宮町体育祭」を実施し、町民へのスポーツ・レクリエーションの普及を図ると共に、地域の

人たちがスポーツを通しての地域同士の連帯感を育てます。

② 温水プールでの各種水泳教室

- ・一般・幼児・小学生を対象にした「水泳教室」や、健康体力づくりを目的とした「水中ウォーキング教室」と「水中アクアビクス教室」等を実施して、水にふれあい、水泳に関心を深め町民の体力増進を図ります。

③ 暮らしの中の運動・スポーツの推進

- ・「にのみやウォーキング・ジョギングガイド」を活用し、運動・スポーツの習慣をつける環境づくりを推進します。
- ・「3033運動」（1日30分、週3回、3ヵ月間）の推進に努めます。
- ・「県民スポーツ週間」には施設の無料開放をするなど、暮らしに運動やスポーツを取り入れる機会を確保します。

④ 関係施設・設備

- ・町民運動場の放送設備を更新します。
- ・町民温水プールのガスボイラーとトレーニングルーム及び見学ロビー系統の空調設備の更新をします。

教育委員について

二宮町教育委員会は、人格が温厚誠実で、学校、生涯学習及び文化等の教育に関し識見を有するものうち、町長が町議会の同意を得て任命した5名の教育委員により構成されている。

二宮町教育委員会委員（平成27年3月31日現在）

職名	委員名	任期
委員長	はすみ しげお 蓮實 茂夫	平成24年10月1日～平成28年9月30日
委員長 職務代理者	やまのうち 山内 みどり	平成25年12月23日～平成29年12月22日
委員	こばやし のりひろ 小林 徳博	平成23年10月1日～平成27年9月30日
委員	よしだ みかこ 吉田 美佳子	平成26年10月1日～平成30年9月30日
教育長	ふかわ よういち 府川 陽一	平成26年12月26日～平成28年9月30日

第1章 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会議の運営状況（平成26年度）

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成26年 4月25日	<p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度二宮町教育委員会事業計画について 教科書採択について 二宮町放課後子ども教室検討委員会設置要綱の廃止について 各種委員の選任について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 5月22日に開催される人権教育担当者会の内容について教えてください。 		<p>(回答事項)</p> <p>町内5校の人権教育担当者が集まる会議で、県の人権教育の取り組みについての説明、各校における人権教育推進のための資料や人材の紹介等を行う予定です。また、人権教育に関する職員研修を各校、年度内に必ず行っていただくようお願いいたします。</p>
平成26年 5月30日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度二宮町立小・中学校で使用する教科用図書の採択方針について 二宮町立二宮小学校大規模改修工事（西棟・校庭）請負契約について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度小・中学校学級編制及び児童生徒数について 二宮町スクールガード・リーダー設置要綱の制定について 二宮町就学援助費事務処理要領一部改正について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>児童・生徒安全対策協議会の際、二宮西中学校から防災グッズを揃えたという報告がありました。各校にある防災倉庫内の備蓄品は災害時には学校が使用しても良いと聞きましたが、各学校では備蓄品を独自に用意しているのでしょうか。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p>(回答事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> 町としては、児童・生徒も地域住民なので、災害時には防災倉庫内のものを使用するという考えです。災害時には保護者に子どもを迎えに来ていただきますが、保護者が迎えに来ることが出来ない子は学校が責任を持って預かることとしています。その際に、防災倉庫内のものを使用できるよう、町防災部局と話し合いが来ています。

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 26 年 6 月 27 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書採択地区についての請願について <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度二宮育英会奨学生の選考結果等について ・平成 25 年度学校給食費会計報告について ・二宮町体育祭プログラム広告掲載要領の制定について <p><報告事項に対する主な意見・提案事項></p> <p>ふたみ記念館で幼児美術展を開催するとのことで、発展的な方向に向かっていると感じました。今後、小中学生等が作品を出品出来るような場になっていくと良いと思うのですが、今回の開催状況を見ながら、今後も検討がなされていく予定なのでしょうか。</p>	原案可決	<p><傍聴 2 名></p> <p>(回答事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示スペースに限りがありますので、どこまで広げることが出来るのかということも課題になるかと思いますが、まずは今年度試行的に実施してからの検討となります。
平成 26 年 7 月 25 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度小学校使用教科用図書採択について ・平成 27 年度中学校使用教科用図書採択について ・平成 27 年度小・中学校使用学校教育法附則第 9 条による教科用図書採択について ・二宮町教育委員会点検及び評価実施規則の制定について <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度二宮町総合防災訓練、ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいについて <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>6 月 27 日に山西小学校で行われた放課後子ども教室を見学させていただきました。多くの児童が参加し盛況だったようですが、ボランティアで指導されている方からは、この指導者数では 30 名程の子どもたちの受け入れが精一杯であるとの話もありました。一色小学校や二宮小学校でも多くの児童が参加したとのことですので、今後はボランティアの指導者の追加募集を行う必要もあるのではないかと感じたところですが、いかがでしょうか。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p><傍聴 6 名></p> <p>(回答事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が注意して目を配っていなければ事故等につながるということもありますので、ボランティアの指導者を増やす必要もあると感じています。今後アンケート調査等を行い、その結果によって、定員を設けることやボランティアの指導者数を増加すること等の検討をしていこうと考えています。

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 26 年 8 月 29 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度二宮町一般会計補正予算(案)について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 二宮町教育委員会点検及び評価実施要領の制定について 平成 26 年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書(案)について 教育支援室教育相談活動について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練は、ある地区では安否確認の訓練を行い、5名の中学生が参加し、最初は何をしたら良いかわからない様でしたが、消火活動等に参加していました。又他の地区でも消火作業を行う訓練を実施し、中学生は20名以上参加していましたが、同様でした。地域に中学生を受け入れる体制がなく、「中学生防災班」を作り中学生の役割を重要視するという町の意図があまり浸透していないと思います。子ども達が参加しやすい環境を整えることも大事だと思います。 	原案可決	<p>(回答事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況を把握し、防災安全課に呼び掛けていきたいと思います。
平成 26 年 9 月 26 日	<p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度予算編成方針について 二宮町体育祭について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>夏季休業期間中に学校間ネットワークの更新作業が行われたとのことですが、内容について詳しく教えてください。防犯カメラは各学校に増設したのですか。</p>		<p>(回答事項)</p> <p>教育委員会及び小中学校・給食センター等の施設をつなぎ、情報共有環境を更新し、パソコン等を導入、防犯カメラを増設しました。防犯カメラは、小学校は2機増設し6機に、中学校は2機増設し5機にしました。また、教育委員会の2階には教育支援室があるため、1階入口に1機設置しました。</p>
平成 26 年 10 月 1 日 (臨時会)	<p><選挙></p> <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会委員長の選挙について <p><指定></p> <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会委員長職務代理者の指定について 		<p>委員長に蓮實茂夫氏が選出される。</p> <p>委員長職務代理者に山内みどり氏が指定される。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 26 年 10 月 31 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について【非公開】 平成 27 年度二宮町公立学校教職員人事異動方針（案）について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度二宮町教育委員会当初予算要求について【非公開】 <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 大多数の児童・生徒が携帯電話等を保有していますが、安全対策について保護者に伝える機会はありません、「学校を通じて」ということが現実だと思います。学校や P T A 主催の安全教室のような機会を通じて啓発することが、効果があるのではないかと思います。子どもと保護者との時差が生じないように、問題が発生したら具体的に事例を紹介する等、保護者が問題を身近に感じることが出来るようにしていくことが必要ではないかと思います。 	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p>(回答事項)</p> <p>小学校では、事前に連絡帳を通じて、保護者から申請していただき、担任教諭・児童生徒指導担当教諭・管理職教員で相談した後、校内の教職員全体での状況把握を行ったうえで、保護者に対して、持ち込みを認めるが登校したら〇〇先生に預けていただきたいと連絡をするという形になっています。</p>
平成 26 年 11 月 28 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書（案）について 平成 26 年度二宮町一般会計補正予算（案）について【非公開】 平成 26 年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 二宮町・町内一周継走大会について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 11月13日に子ども野外研修実行委員会が行われ、今年は119名の研修生が参加し、天候にも恵まれましたが、暑くて気分が悪くなる子もいた等の報告がありました。昨年度は地区のお祭りと重なり日程の関係で苦慮しましたが、今年度は7月の最終週の週末に出発することで調整しましたが、日程としてはいかがだったのでしょうか。今後は7月最終週の週末とするのですか。 	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p>(回答事項)</p> <p>今年は地区のお祭りを考慮して日程を決めたのではないかと思います。また、指導者からは2泊3日の日程ではハードであるという意見も出ていましたが、実施日については7月最終週の週末という方向になりました。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 26 年 12 月 2 日 (臨時会)	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の辞職の同意について <p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長の職務代理者の設置について 	原案可決	教育次長が職務代理者となる
平成 26 年 12 月 25 日	<p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新春のつどい、自治功労、教育委員会表彰式について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館班の事業報告の中で、12 月 12 日に二宮小学校の 2 年生が図書館見学に来て本を 1 冊ずつ借りていったとの報告がありましたが、全ての学校で図書館見学に来た際には本を借りていくのでしょうか。 		<p>(回答事項)</p> <p>図書館見学については3小学校とも実施していますが、本の貸し出しを行っているのは二宮小学校のみです。他の2校は見学のみで、職員が施設や本について説明を行い、図書館に親しむきっかけをつくることを目的として実施しています。</p>
平成 26 年 12 月 26 日 (臨時会)	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長の任命について 	原案可決	府川委員が二宮町教育委員会教育長に任命される。

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 27 年 1 月 30 日	<p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度二宮町教育委員会基本方針（案）について ・体罰の実態把握に関する調査について ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う新たな教育委員会制度について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策会議で、町長より学校給食の特色づくりと PR の指示があったと報告がありました。学校給食を町の特色ある事業として広報紙やホームページ等で取り上げ、PR していくという事だと思いますが、給食は子ども達の健康増進のため、献立を追求していくのが本来の姿ではないかと思えます。町の名産を PR するきっかけとして特色づくりをするようにとの指示なのか気になりました。 		<p>(回答事項)</p> <p>町長は、住みたい町・住み続けたい町として、特に子育て世代が全国の自治体から二宮町を選択するようになってほしいというビジョンを持っています。二宮町では、子育て世代にとって関心のある教育の分野について様々な取り組みの中で、発信力が弱いのではないかということと、中学校まで完全給食を実施しているのは大きな特色なのでしっかり PR するようにという意図です。</p>
平成 27 年 2 月 20 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度二宮町教育委員会基本方針（案）について ・平成 26 年度二宮町一般会計補正予算（案）について【非公開】 ・平成 27 年度二宮町予算（案）について【非公開】 ・二宮町ふたみ記念館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（案）について【非公開】 ・二宮町図書館規則の一部を改正する規則（案）について ・教育委員の辞職の同意について <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・二宮町図書館予約及びリクエストサービス実施要綱の制定について ・規則等の改正について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月13日に町民運動場の、16日に町立体育館の防災訓練を行ったとのことですが、こちらは職員を対象とした訓練ですか。 		<p><傍聴 3 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>生涯学習課職員と施設に勤務する職員を対象とした防災訓練で、例年休館日に実施しています。なお、教育委員会が所管する他の体育施設でも防災訓練は実施しています。</p>

2 学校訪問

<訪問内容>

①「教育方針」「学校教育推進に伴う課題・問題（施設の維持・危機管理・サービスなど）」について説明、検討を行った。

②具体的な教育活動(児童生徒指導の実情と問題点)や学校研究の特色などについて検討を行った。

<学校訪問の状況>

訪問日	場 所
平成 26 年 5 月 30 日	二宮町立一色小学校
平成 26 年 6 月 27 日	二宮町立二宮小学校
平成 26 年 10 月 31 日	二宮町立二宮西中学校
平成 26 年 11 月 28 日	二宮町立山西小学校
平成 27 年 1 月 30 日	二宮町立二宮中学校

3 研修会・協議会

平成 26 年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（5 月 16 日開催・長野県）に委員長職務代理が出席して、研鑽を積んだ。また、平成 26 年度中地区教科用図書採択協議会（5 月 8 日開催・大磯町保健センター、7 月 8 日開催・二宮町役場）を大磯町とともにいき、協議した。

4 その他の活動状況

①町の各種委員会委員への選任及び開催状況

委員会の名称	委員名	委員会開催日
都市計画審議会	飯塚 富美	平成 26 年 5 月 29 日
	小林 徳博	平成 27 年 2 月 19 日
男女共同参画プラン推進連絡会	山内 みどり	平成 26 年 7 月 3 日、平成 27 年 3 月 24 日
学校給食センター運営委員会	蓮實 茂夫	平成 26 年 6 月 23 日
	吉田 美佳子	平成 27 年 2 月 4 日
二宮育英会	小林 徳博	平成 26 年 5 月 26 日
二宮町表彰審査委員会	蓮實 茂夫	平成 26 年 10 月 29 日
子ども野外研修実行委員会	蓮實 茂夫	平成 26 年 4 月 10 日、6 月 12 日、 11 月 13 日

②小・中学校や町関係行事への参加状況

開催日	行事名
平成 26 年 4 月 1 日	教職員辞令交付式
4 月 7 日	小・中学校入学式
5 月 31 日	運動会（二宮小学校）
6 月 7 日	運動会（一色小学校）
6 月 14 日	体育祭（二宮中学校）
6 月 14 日	体育祭（二宮西中学校）
7 月 26 日	子ども野外研修（丹沢湖ロッヂ）
8 月 2 日	少年少女ソフトバレーボール大会
10 月 5 日	二宮町体育祭
10 月 11 日	運動会（山西小学校）
10 月 18 日	文化祭（二宮中学校、二宮西中学校）
10 月 19 日	子ども会レクリエーション大会
10 月 26 日	二宮町民俗芸能のつどい
12 月 7 日	二宮町町内一周継走大会
平成 27 年 1 月 7 日	教育委員会表彰・教育長表彰式（二宮町新春のつどい）
1 月 12 日	成人祝賀会
3 月 13 日	中学校卒業式
3 月 20 日	小学校卒業式
3 月 31 日	教職員等転退職者辞令交付式

5 教育委員会議の公開

二宮町教育委員会議規則第 16 条に基づき、会議は委員長の許可を得て傍聴することができるとしている。

平成 26 年度は、15 名の傍聴人があった。

6 教育委員会の活動状況 点検評価

※「別紙 1 教育委員会の活動状況 点検評価シート」記載のとおり

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
教育委員会議の実施状況	1 開催回数 13回 (定例会 12回) (臨時会 1回) 2 議案件数 23件 3 請願件数 0件 4 選挙 1件 5 傍聴 3名	1 開催回数 15回 (定例会 12回) (臨時会 3回) 2 議案件数 36件 3 請願件数 1件 4 選挙 2件 5 傍聴 15名
成果・課題	評価・所見	
<p>平成26年度二宮町教育委員会基本方針を念頭に置き、定例会と臨時会を開催し、議案36件を審議した。また、各定例会においては教育長報告として各所管課から実績報告や事業予定の説明を受け、内容の確認を行った。</p> <p>また、平成27年度4月からの教育委員会新制度移行に向けて、新制度に対する理解を深めるとともに法制面等の体制づくりを行った。</p> <p>今後も、二宮町の教育の良い点をさらに伸ばし、子どもたちの生きる力を育成し、質の高い教育を受けることが出来るよう、教育や学習の環境を整えていくための活動を引き続き行っていく。</p>	<p>B</p> <p>教育委員会議では活発な意見交換を行っていて概ね適正に取り組んでいるが、さらに、多様な個性を発揮出来る児童・生徒の育成や、生涯学習に関する整備に努めていくための討議が必要である。</p> <p>教育委員会議は、二宮町教育委員会議規則第16条に基づき、委員長の許可を得て傍聴することが出来るとされている。平成26年度の傍聴者数は15名であり、昨年度よりは増加しているが、今後も一段と開かれた会議運営を進めていく必要があることから、評価をBとした。</p>	

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
学校訪問等の活動	1 学校訪問 町立小中学校 5 校訪問 2 各種研修会 2 回参加 3 その他の活動 学校教育・生涯学習関連 各種行事に参加	1 学校訪問 町立小中学校 5 校訪問 2 生涯学習課関連施設訪問 3 各種研修会 1 回参加 4 中地区教科用図書採択協議会 2 回出席 5 その他の活動 学校教育・生涯学習関連各種 行事に参加
成果・課題	評価・所見	
<p>学校訪問では、各学校の教育方針や学校経営の実情をもとに、学校教育推進上の諸課題について話し合い、これからの学校教育の推進を図るため、各学級の授業参観及び学校施設の状況を視察した。今後も引き続き実施し、学校現場の協力を得ながら、二宮町の教育の質の向上を図るべく、積極的に学校を訪問し、意見交換を行っていく。</p> <p>また、生涯学習課の所管する施設の視察も行い、利用状況及び施設状況を確認した。</p> <p>さらに、平成 27 年度小学校使用教科用図書採択のため、平成 26 年度中地区教科用図書採択協議会に出席し協議を行った。</p>	<p>B</p> <p>学校訪問を積極的に行い、教育行政全般に目を向けた幅広い視野を持てるよう努めている。前年度の課題であった、生涯学習施設への訪問も行い、教育行政のさらなる推進を図る事が出来た。</p> <p>また、各種研究会に積極的に参加し情報の共有を図ると共に、平成 26 年度中地区教科用図書採択協議会に出席し、同じ中郡である大磯町教育委員会とより良い教科書採択に向けた協議を行えたことは、大きな成果である。</p> <p>しかし、今後も様々な研修会に積極的に参加し委員としての研鑽を積む必要があることから、評価を B とした。</p>	

第2章 教育委員会における主要事務の管理及び執行状況

1 教育総務課の主な事業

●学校教育の重点施策

- ・＜教育環境の充実について＞ 災害対策の強化
- ・＜教育環境の充実について＞ 関係施設・整備について
- ・＜教育環境の充実について＞ 信頼関係の構築
- ・＜社会性を育てる教育の推進について＞ コミュニケーション能力の育成
- ・＜社会性を育てる教育の推進について＞ 地域社会とともに生きる力の育成

※「別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート（教育総務課）」記載のとおり

2 生涯学習課の主な事業

●生涯学習の重点施策

- ・＜社会性を育てる教育の推進について＞ 地域社会とともに生きる力の育成
- ・＜社会全体による子育てについて＞ 放課後子ども教室の実施
- ・＜図書館事業・運営の見直しについて＞ 子育て世代が魅力を感じる図書館
- ・＜図書館事業・運営の見直しについて＞ 図書館運営の効率化の推進

●生涯学習のその他の事業

- ・＜社会体育について＞ 温水プールでの各種水泳教室
- ・＜社会体育について＞ 関係施設・整備

※「別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート（生涯学習課）」記載のとおり

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
<p>重点施策</p> <p>1 教育環境の充実</p> <p>(1) 災害対策の強化</p> <p>① 防災教育の強化</p> <p>② 地震等、災害発生時の安全確保</p> <p>(教育総務課指導班)</p>	<p>平成 24 年度に策定した「二宮町教育委員会学校防災方針」に基づいて各校で防災マニュアルの再確認を行い、災害発生時の児童・生徒への対応について町内での統一を図った。</p> <p>各校で自然災害等を想定した避難訓練や引取り訓練を実施し、児童・生徒の危険回避力の育成を図るとともに、防災マニュアルの内容について検証を行った。</p>	<p>◎前年度に引き続き、各校で防災マニュアルに沿って、地震や火災等の災害を想定した避難訓練や子どもたちの引取り訓練を実施した。事前の通知なしで訓練を行うなど、各校でより実践的な試みを行っている。</p> <p>◎災害対策に加え、不審者の侵入があった場合に備えた対応訓練も実施した。</p> <p>◎児童・生徒に対して、特別活動の時間等を活用して、計画的な防災教育を進めた。</p>
<p>成果・課題</p>	<p>評価・所見</p>	
<p>各校において、訓練の結果を踏まえて、随時防災マニュアルの見直し等を実施することができた。発生した災害の種類や場所、時間帯等に応じて避難経路を変更するなど、その場に居合わせた教職員が状況に応じて適切かつ柔軟に対応できるよう、今後もさまざまな状況を想定して訓練を実施する必要がある。</p> <p>また、大規模災害が発生した場合は学校が地域の避難場所となるため、よりいっそう地域との連携を進めていく必要がある。</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>各種訓練を計画的に行うなど、着実に災害対策が進められている。しかしながら、実際に災害が発生した場合は、訓練でできた以上のことはできないという前提を忘れることなく、今後も常に訓練の実施と防災マニュアルの見直しを進めていく必要があることから、B評価とした。</p>	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
<p>重点施策</p> <p>1 教育環境の充実</p> <p>(1) 災害対策の強化</p> <p>②地震等、災害発生時の安全確保</p> <p>1 学校教育</p> <p><関係施設・整備></p> <p>②学校施設に関する取り組み</p> <p>(教育総務課 教育総務班)</p>	<p>平成 25 年度においては、主に、以下の工事を実施した。</p> <p>(小中学校 5 校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防防災設備改修工事 (小学校 3 校) ・ 電話機更新工事 (二宮小学校) ・ 大規模改修工事 (東棟・中央棟) (山西小学校) ・ トイレ改修工事 (二宮中学校) ・ 体育館改修工事 (二宮西中学校) ・ 体育館バスケットコートライン改修工事 (他工事および修繕) 29 件 	<p>平成 26 年度においては、主に、以下の工事を実施した。</p> <p>(二宮小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模改修工事 (西棟・校庭) (一色小学校) ・ 南棟網戸設置工事 (山西小学校) ・ 浄化槽設備改修工事 (二宮中学校) ・ 教室棟東側屋上等防水改修工事 ・ 普通教室扇風機設置工事 (二宮西中学校) ・ 体育館改修工事 (他工事および修繕) 24 件
<p>成果・課題</p>	<p>評価・所見</p>	
<p>各工事修繕の施工にあたっては、児童生徒等の安全を第一に、学校授業への影響を最小限になるよう、業者及び学校と連携を密にして実施することができた。</p> <p>施設や設備の整備は、計画的に進める必要がある一方で、予期せぬ故障への対応もある。また、確実に工事や修繕を実施するには、知識や経験を有する担当職員の適正な配置や育成も不可欠である。</p> <p>様々な課題はあるが、引き続き、児童生徒の安全安心を第一に事業に取り組みたい。</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</p> <p>平成 26 年度においては、予定していた工事、臨機に対応した修繕について、いずれも確実に施工出来たことから、評価を A とした。</p> <p>しかしながら、学校における施設や設備の整備は、老朽化対策、法令対応、学校要望等様々な観点から、限りある予算の範囲での対応であり、常に万全とは言い切れない状況である。</p>	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
<p>重点施策</p> <p>1 教育環境の充実 (2)信頼関係の構築</p> <p>①「一声運動」を通じた児童・生徒指導の充実</p> <p>②保護者・地域との連携強化</p> <p>(教育総務課指導班)</p>	<p>各学校で取り組んでいる「一声運動」を広報にのみやで紹介し、保護者や地域の方々に子どもたちの見守り活動への参加を呼びかけた。</p> <p>不登校・ひきこもり、いじめ・暴力行為などの問題行動の未然防止・早期発見・早期指導に向けて教育相談等の充実を図った。</p> <p>・延べ相談件数 電話相談 214件 来室相談 208件 訪問相談 260件</p>	<p>◎教育長みずから各校へ出向き啓発を行うなど、「一声運動」の推進に取り組んだ。</p> <p>◎教育相談の充実については、随時実施している教育相談に加え、新たに教育支援室の心理教育相談員による各校の巡回訪問を実施した。</p> <p>・延べ相談件数 電話相談 169件 来室相談 212件 訪問相談 277件 巡回相談 38件</p> <p>◎スクールガードリーダーの配置や防災行政無線での呼びかけなど、地域の協力を得て児童・生徒の見守り活動を推進した。</p>
<p>成果・課題</p>	<p>評価・所見</p>	
<p>校内での一声運動は定着し、児童・生徒へ積極的に声かけを行っている様子が見られた。</p> <p>一般町民の方が行う一声運動については、児童・生徒と顔見知りでない方が不審者に間違われるケースがあり、大きな課題が残った。</p> <p>教育相談の分野では、心理教育相談員の巡回訪問を始めるなど、問題行動が発生した場合の対処から、発生そのものの予防に向け、新たな取組を始めることができた。また、関係機関と連携し、児童・生徒とその家庭を取り巻く課題に、きめ細かな対応を行った。</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>一声運動については、校内で成果を上げている反面、地域への普及・啓発という面では課題を残している。児童生徒安全対策協議会などの機会をとらえて、スクールガード・リーダーや長年見守り活動を続けている団体等と情報交換を行いながら、息の長い普及・啓発運動をすすめる必要がある。</p> <p>また、教育相談は今後も充実した体制づくりに取り組んでいく必要があることから、評価をBとした。</p>	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
<p>重点施策</p> <p>2 社会性を育てる教育の推進</p> <p>(1) コミュニケーション能力の育成</p> <p>① 英語をはじめとする各教科等における言語活動の充実</p> <p>(教育総務課指導班)</p>	<p>平成24年度から引き続いてALT(外国語指導助手)の各校への配置と英語検定奨励金の交付を行った。</p> <p>【平成25年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ALTの年間配置日数、授業時数 <ul style="list-style-type: none"> 小学校…239日 <ul style="list-style-type: none"> 1～4年 10時間 5～6年 35時間 中学校…128日 <ul style="list-style-type: none"> 1～3年 13時間 ALT経費 8,955,000円 英語検定奨励金 <ul style="list-style-type: none"> 英検受験者数 95名 英検受験率 37.3% 奨励金支給額 211,500円 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ALTの年間配置日数、授業時数 <ul style="list-style-type: none"> 小学校…251日 <ul style="list-style-type: none"> 1～4年 10時間 5～6年 35時間 中学校…117日 <ul style="list-style-type: none"> 1～3年 13時間 ALT経費 9,210,857円 ◎英語検定奨励金 <ul style="list-style-type: none"> ・英検受験者数 95名 ・英検受験率 38.7% ・奨励金支給額 261,600円 ◎各教科等による言語活動の充実については、主に別掲「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」にて取り組んだ。
成果・課題	評価・所見	
<p>ALTは小学校の外国語活動や中学校の英語科の授業だけでなく、給食や清掃活動、学校行事等にも参加し、交流を行っている。これらの活動は、児童・生徒がより身近にALTとふれあう契機ともなっており、国際理解とコミュニケーション能力の育成に大いに役立っている。</p> <p>また、英検受験率は前年度よりも微増となった。個人的に受験した者も含め、中学校卒業時に3級以上を取得している生徒は40.9%にのぼっている。</p>	<p>B</p> <p>英語を活用した児童・生徒のコミュニケーション能力の育成について、一定の成果を得ることができたと考えられる。</p> <p>英語学習への関心、意欲を高める一環として、英検受験は引き続き受験率の向上に取り組む必要がある。また、平成32年度の小学校における英語の教科化も見据え、今後、よりいっそう言語活動の充実を図る必要があることから、評価はBとした。</p>	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
<p>重点施策</p> <p>2 社会性を育てる教育の推進</p> <p>(1) コミュニケーション能力の育成</p> <p>② 「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」の推進</p> <p>(教育総務課指導班)</p>	<p>県教委との連携の下、「考える力を育てる、質の高い授業づくり～言語活動の充実～」をテーマに校内研究の充実を図り、授業改善に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びづくり研究推進委員会 5回 ・ 教職員研修会 2回 延べ 103 名参加 ・ 県学力向上シンポジウム参加 9 名及び実践発表 (二宮中・町教委) ・ 各校校内研究会 55 回 ・ 他校の授業研究会へ参加した町立学校教員数 延べ 85 名 ・ 研修会講師謝金 460,000 円 (講師招聘回数：24 回) ・ 学びづくり通信発行 5 回 	<p>◎前年度から引き続き「考える力を育てる、質の高い授業づくり～言語活動の充実～」をテーマに研究に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びづくり研究推進委員会 5回 ・ 教職員研修会 1回 延べ 101 名参加 ・ 県学力向上シンポジウム参加 6 名及び実践発表 (町教委) ・ 各校校内研究会 53 回 ・ 他校の授業研究会へ参加した町立学校教員数 延べ 55 名 ・ 研修会講師謝金 438,000 円 (講師招聘回数：30 回) ・ 学びづくり通信発行 5 回
<p>成果・課題</p>	<p>評価・所見</p>	
<p>県教委から受託した研究事業が終了となる2年目を迎えた。学習会・指導案検討会・授業公開・研究協議会という研究サイクルが前年度に確立されていたことで、各校の研究が円滑に進められた。他校の授業研究に参加することで教員同士の情報交換が活発になり、他校の外部講師や県指導主事からも学ぶ機会を得られたことは大きな成果と考えられる。</p> <p>県の委託事業は終了となったが、今回の成果を受けて、次年度以降、町単独事業として各校の研究を継続、発展させていくこととなった。</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</p> <p>平成 26 年度は、小学校、中学校の校種をこえた教員間の研究及び協議体制をよりいっそう定着させることができた。また、県立高等学校からも授業研究への参加があるなど、研究活動は当初の想定以上の広がりを見せた。</p> <p>今後は町単独事業となるが、研究の発展を鈍化させることなく、効果的かつ効率的に事業運営していくことが望まれる。</p>	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
<p>重点施策</p> <p>2 社会性を育てる教育の推進</p> <p>(2) 地域社会とともに生きる力の育成</p> <p>① 郷土愛の育成</p> <p>② 挨拶、集団行動を通じた社会性の育成</p> <p>③ キャリア教育の充実</p> <p>(教育総務課指導班)</p>	<p>前年度は、地域の方々とともに活動することで郷土を愛する気持ちと社会性をはぐくむことを目標に、学校から児童・生徒に地域行事への参加を呼びかけた。</p> <p>また、児童・生徒の発達段階に応じて福祉体験、職場体験等を実施し、地域の方々とのふれあいを通じてキャリア教育の充実に努めた。</p> <p>地域教育力活用事業として、体育・文化活動指導者9名5団体、学習協力者16名5団体にご協力いただいた。</p>	<p>◎各中学校を通じて町防災訓練への参加を呼びかけ、中学生が各地区の防災訓練に参加した。</p> <p>◎二宮中学校では地域の集会施設の清掃活動を、二宮西中では地域の防災や福祉活動等について学習した内容をもとに地域住民との意見交換を行うなど、各校で地域とのつながりを大切にした学習活動を展開した。</p> <p>◎前年度に引き続いて福祉体験、職場体験活動等のキャリア教育を推進した。</p> <p>◎地域教育力活用事業として、体育・文化活動指導者9名4団体、学習協力者16名7団体にご協力いただいた。</p>
<p>成果・課題</p>	<p>評価・所見</p>	
<p>学校から呼びかけたこともあり、例年よりも多くの中学生が防災訓練に参加した。しかし、具体的な活動の指示が円滑にいかずに、地域防災組織と中学生がとまどったケースがあった。地域活動への児童・生徒の参加を促していく上で、地域や関係機関等と十分な連携が必要である。</p> <p>なお、小学校3、4年生が郷土について学ぶ資料となる社会科副読本の編集発行を教育研究所で行った（平成27年度～30年度使用分）。</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>町では、以前から専門的な知識や技術を有する地域の人材を授業や課外活動の特別講師として学校に招く地域教育力活用事業などに取り組んできた。これらの取組に加え、積極的に児童・生徒を地域に送り出し、地域の方とのふれあいを通じて社会性を育てる方向性は今後も継続していく。</p> <p>地域と関係機関等との連携については検討を重ねていく必要があるため、評価はBとした。</p>	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
<p>重点施策 2 社会性を育てる教育の推進 (2) 地域社会とともに生きる力の育成 ①郷土愛の育成</p> <p>2 生涯学習 <社会教育について> ⑤地域文化の向上</p> <p>(生涯学習課 生涯学習班)</p>	<p>第 39 回民俗芸能のつどい 平成 25 年 10 月 27 日 (日) 【台風接近のため中止】 町内民俗芸能保存会連絡協議会加盟 16 団体による成果発表会</p>	<p>第 40 回民俗芸能のつどい 平成 26 年 10 月 26 日 (日) 参加人数 453 人 伝統芸能 4 団体 祭囃子 12 団体 招待芸能 2 団体 40 回記念として各団体の演奏の模様を映像記録に残し、バーチャル郷土館ホームページに掲載した。</p>
<p>成果・課題</p>	<p>評価・所見</p>	
<p>町民俗芸能保存会連絡協議会との共催で例年行っている事業で、町内の民俗芸能団体が一同に会し、日頃の成果を披露し、活動をPRする場として、また、団体相互の交流や連携の場として一定の成果をあげている。</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <p>民俗芸能団体の成果発表の場として、また、町の伝統文化を多くの方に知っていただく場として一定の成果があることからAとした。</p> <p>将来を担う子どもたちに伝統文化を継承していくためにも、継続した開催が必要である。</p>	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
<p>重点施策 3 社会全体による子育て ①放課後子ども教室の実施（試行）</p> <p>2 生涯学習 ＜社会教育について＞ ③社会全体による子育て</p> <p>（生涯学習課 生涯学習班）</p>	<p>放課後子ども教室実施に向けた検討</p> <p>放課後子ども教室検討委員会実施 第1回 平成25年10月24日（木） 第2回 平成26年2月12日（水）</p> <p>平成23年から設置され、3カ年にわたる検討結果を報告書にまとめた。</p> <p>子どもの居場所づくりとして土日午前中に「こどもゆうゆうスペース」を実施してきたが、報告書の中で平日放課後の居場所づくりも必要であると出された。</p>	<p>放課後子ども教室（試行）の実施</p> <p>二宮小 登録数71人 ①6月23日（月）50人 ②6月30日（月）57人 ③10月6日（月）中止 ④10月20日（月）56人</p> <p>一色小 登録数37人 ①6月16日（月）30人 ②7月7日（月）28人 ③9月29日（月）31人 ④11月10日（月）34人</p> <p>山西小 登録数35人 ①6月27日（金）30人 ②7月11日（金）中止 ③10月24日（金）31人 ④10月31日（金）25人</p>
<p>成果・課題</p>	<p>評価・所見</p>	
<p>報告書で出された意見を反映し、土日の「こどもゆうゆうスペース」から、平日放課後の「放課後子ども教室」へと移行した。</p> <p>運営協力として、子どもの見守りや遊びの指導を行う放課後子ども教室サポーターを募り、小学校の体育館を会場として試行的に実施した。</p> <p>学校からそのまま会場へ行くことが出来ることから、参加率は高く、児童からは好評であったが、登録率は全児童に対し1割程度と低い。</p> <p>放課後子どもサポーターの人材確保や運営方法等について今後検討が必要である。</p>	<p>B</p> <p>事業内容自体は児童にとっては好評であり、一定の成果があったとみられるが、サポーターの確保や実施回数、運営方法など課題について検討が必要である。</p>	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
<p>重点施策 4 図書館事業・運営の見直し ①子育て世代が魅力を感じる図書館 2 生涯学習 <図書館について> ③子育て支援の推進 (生涯学習課 図書館班)</p>	<p>平成 25 年度、主に行った事業等 ○ブックスタート事業（継続）（子ども育成課と共催・4 ヶ月児健診時開催・参加した親子に絵本 1 冊と「あかちゃんがはじめてであう絵本」リスト、図書館利用案内等配布） 年 6 回・絵本配布数：168 冊 ○「子育て関連図書コーナー（子育て本紹介）」と「子育て情報コーナー」（町事業及び町内の子育て関連情報のチラシ等集めて提供）の拡充 ○図書館託児サービス（継続）29 人</p>	<p>平成 26 年度、主に行った事業等 ○ブックスタート事業（継続） 年 6 回・絵本配布数：142 冊 ○子育て関連図書および関連情報コーナーの充実（継続） ○子育て支援関連講座（新規） 「絵本はころのおやつ」10 人 「わらべうたであそぼう！（乳児向）」子ども 27 人・大人 31 人 ○赤ちゃん絵本購入 26 冊 ○ベビーラック設置（1 台）およびベビーカー購入・設置（1 台） ○図書館託児サービスの拡充（対象を未就学児までに引き上げ）47 人</p>
成果・課題	評価・所見	
<p>平成 26 年度は、町の重点施策として「子育て世代が魅力を感じる図書館運営」を目指し、子育て支援関連の新規行事の開催等により、利用促進を図った。 平成 27 年度は引き続き行事等事業を開催し、子育て関連コーナーの充実を図る。また、ファミリー読書コーナーを新たに設置する。さらなる子育て支援事業の拡充のため、こどものほんコーナーに試験的に人を配置し、来年度以降のサービス拡大の検討材料としていく。</p>	<p>A 平成 26 年 6 月に策定された「二宮町定住促進計画」（子育て編）において、子育て世代が魅力を感じる図書館として充実させることがうたわれている。従来より力を入れてきた子ども向けサービスと併せ、子育て世代向けサービスをより一層拡充し展開したため、Aとした。</p>	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
<p>重点施策 4 図書館事業・運営の見直し ②図書館運営の効率化の推進 2 生涯学習 ＜図書館について＞ ⑦図書館運営体制及びサービスの見直し (生涯学習課 図書館班)</p>	<p>平成 25 年度について 「第 5 次二宮町総合計画」の「4 戦略的行政運営」の中で「(1) スリムで効果的な行財政運営の確立」として図書館の効率的な管理運営の検討が位置づけられ、年次計画(平成 26 年度～28 年度)を作成した。 ①図書館サービスの見直し 利用者への直接的なサービスを低下させないよう見直しを図り、町重点施策に関わる事業は維持する。 ②正規職員の配置見直し・勤務体制の効率化 ③町民参加の図書館運営(ボランティアによるサポート強化) ④資料費について 現行の予算の維持、寄贈受入、雑誌スポンサー制度の活用、図書館基金の活用検討</p>	<p>平成 26 年度について 「二宮町図書館の効率的な管理運営年次計画」1 年目として、以下のとおり実施した。 ①図書館サービスの見直し 図書館だより発行回数減(4 回→2 回、リサイクル市休止。地域文庫巡回休止)、子育て支援事業(講座)の実施 ②正規職員の配置見直し(1 名非正規化) ③町民参加の図書館運営 ボランティア体制の強化(書架整理、修理等) ④資料費について 雑誌スポンサー制度、寄贈受入推進、図書館基金活用の検討</p>
成果・課題	評価・所見	
<p>「二宮町図書館の効率的な管理運営 年次計画」について、初年度として平成 26 年度実施、検証した結果、職員の配置については、サービスの低下につながるおそれがあり、これ以上の人員削減は行わないこととした。平成 27 年度より、図書館の利用促進のため PR の強化として、図書館だよりの発行回数を 4 回に戻し、町内回覧を開始、ホームページについても、SNS の導入等検討、基金を活用した健康関連図書コーナーの設置を行う。その他については、引き続き実施していく。</p>	<p>A 図書館の効率的な管理運営については、計画初年度は計画どおり遂行することができたので A とする。平成 27 年度以降の職員の配置については、計画による削減は平成 26 年度までとし、業務の効率化を図りながら、事業を推進していく。</p>	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
<p>生涯学習のその他の事業 <社会体育について> ②温水プールでの各種 水泳教室</p> <p>(生涯学習課 生涯スポーツ班)</p>	<p>技術向上・体力づくり・利用者拡大等を目的に開催している水泳教室(一般・幼児・小学生・水中ウォーキング・水中アクアビクス)は、利用者が安心して参加しやすく、年間を通して継続出来る内容で実施している。</p> <p>参加費 1回大人 700円・小人 500円 入場料 1回大人 400円・小人 200円 (大人 1,100円・小人 700円)</p> <p>平成 25 年度実績</p> <p>参加費 8,759,700円 参加者 1,485人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳教室 1,431人 (大人 198人・小人 1,233人) ・水中ウォーキング 24人 ・水中アクアビクス 30人 	<p>水泳教室は、幼児(満3歳)から大人までが参加出来る生涯スポーツです。開催している教室によって参加者が少ない・募集方法や内容などの課題が生じている。</p> <p>参加費 1回大人 700円・小人 500円 入場料 1回大人 400円・小人 200円 (大人 1,100円・小人 700円)</p> <p>平成 26 年度実績</p> <p>参加費 9,704,300円 参加者 1,579人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳教室 1,534人 (大人 206人・小人 1,328人) ・水中ウォーキング 23人 ・水中アクアビクス 22人
<p>成果・課題</p>	<p>評価・所見</p>	
<p>平成 23 年度より水泳教室を業者委託にして、3年が経過した。民間スイミングスクールのノウハウを導入して実施し、成果は毎年上がっている。</p> <p>しかし、水中ウォーキング・水中アクアビクス教室は、募集方法(ホームページ・お知らせ版)等の課題もあり、継続して町民以外も参加出来るように拡大を図る取組みを行っていません。</p> <p>また、平成 27 年度当初予算(歳入)についても、内容を十分検討して計上した。今後も参加者ニーズに応えられるよう努力していく必要がある。</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>安定した参加者を確保するため、現在取り組んでいる募集方法等を継続しながら、参加者の少ないクラスは募集方法を検討していく必要がある。</p> <p>参加者の少ない、水中ウォーキング・水中アクアビクスは、他の泳ぐ教室と違い継続性が見えづらいため参加者が減っている。</p> <p>平成 27 年度においては、内容の一層充実・利用者拡大を図るため、小学生のクラスを増やし、水中ウォーキングや水中アクアビクスは参加者が少ないため、無料体験などを実施し、継続性の高い教室を目指し実施していくことから評価をBとした。</p>	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
<p>生涯学習のその他の事業 <社会体育について> ④関係施設・整備 ・温水プール設備 (生涯学習課 生涯スポーツ班)</p>	<p>各施設、利用者が安全安心で快適に利用出来るように、優先順位をつけて、老朽化した体育施設を整備している。特に、温水プールについては、開館以来 20 年が過ぎたため、修繕や工事の整備を早急を実施している。 平成 25 年度温水プール修繕料 ・1,231,913 円 (20 箇所) 券売機関係修繕 水質監視装置修繕 エアコン関係修繕 トレーニングマシン関係修繕 コピー機修繕 電気関係修繕 他</p>	<p>設備については、毎日使用している機械の老朽化や年数が経った機械があるため、優先順位を決めて修繕等を実施しているが、他の予定以外の修繕等が発生するため、十分な対応が難しい。 平成 26 年度温水プール修繕料 ・2,171,880 円 (19 箇所) 更衣室エアコン修繕 トレーニングルーム関係修繕 排水バルブ修繕 自動水質監視装置 更衣室シャワー電動ボール弁 エアコン関係修繕 他</p>
<p>成果・課題</p>	<p>評価・所見</p>	
<p>平成 23 年度より工事関係 (オゾン発生装置・空調・給排水・空冷ヒートポンプ関係など) は、公共施設課予算として対応し、一般修繕は、温水プール予算で対応している。 施設が老朽化すると、修繕や工事に費用を要するため、町の財政を圧迫することが懸念される。</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</p> <p>各施設が老朽化しており、修繕箇所が多くなってきている。施設の管理や利用者の安全の観点から、今後も優先順位をつけ、計画的に施設修繕を行う必要があることからB評価とした。</p>	

外部評価意見

評価委員： 露木 孝夫

評価（意見）内容

<p>・26年度は重点施策が最初に明示されており、施策の特徴が纏められ分かりやすくなっていて良かったと思います。</p>
<p>ただ、具体的各事業の記載において、表題・項目番号が重点施策の表題・項目番号と異なっていたため、重点施策との照合に戸惑いを感じました。</p>
<p>・定例教育委員会議の会議録を拝見いたし、広範多岐にわたる諸課題について、熱心且つ真剣な意見交換がされていることから、委員各位の熱い思いが伝わり、大変心強く感銘いたしました。</p>
<p>今年も、会議の傍聴者が少ないのが残念です。年に1回でも良いと思いますが、教育委員会会議日を「特別傍聴日」として設け、重点的に参加を呼びかけるなど如何でしょうか。</p>
<p>・子育て世代が魅力を感じる図書館事業は、二宮町定住促進計画としても取り組んでいただ点検評価もAとなっておりますが、より一層の事業の拡充を期待します。</p>
<p>・放課後子ども教室が施行され、子どもには好評で参加率は高く、また登録率は全児童の1割程度と低く、サポーターの確保や実施回数等の検討が必要との評価になっています。</p>
<p>学童保育とは実施目的が異なると思いますが、この事業の目的が社会による子育てであることに鑑み、実施回数の増加は必要かつ可能でしょうか。</p>
<p>・少子化による児童生徒の減少傾向は、今後も進んでいくことが予想されます。少子化問題は、日本の社会全体や経済にも大きな影響を及ぼすとして課題提起されています。小中一貫教育の検討や、小中学校の統廃合などたくさんの課題があると思われませんが、中長期展望に立った取り組みが必要に思われます。二宮町の将来の見通しはいかがでしょうか。</p>
<p>・教育関係施設に限らず、公共施設の老朽化に対する対応は、どこの自治体でも共通の課題</p>

であり、住民の望む施設があったとしても新規施設の建設は難しい状況かと思えます。

優先順位により対応せざるを得ないことも仕方のないことと思えます。引き続き現状を確認し、適切な対応をお願いいたします。

評価委員： 高橋 克美

評価（意見）内容

第1章 教育委員会の活動状況について
・教育委員会議は15回開催され、36件の慎重な議案審議はもとより、詳細な教育長事務報告を受け、質の高い教育の実現を目指し、真摯かつ自由活発な意見交換、施策検討がなされておられ高く評価できますのでA評価が適切かと思えます。
・教育委員会議は、会議録が公開され傍聴制度も整備されていますが、会議公開に関する広報活動に工夫の余地があると思えます。
・小中学校訪問、生涯学習関連施設訪問、学校教育・生涯学習関連各種行事参加など積極的な現状把握の上で喫緊、短期、中期、長期の教育文化施策検討、共通認識づくりがなされていると伺われ評価できます。
・平成26年2月に協定締結された学校警察連携制度の初年度運用結果が不明で気になるのですが、課題となったことが無ければ幸いです。
第2章 教育委員会における主要事務の管理及び執行状況について
・各項目とも評価は妥当と思えます。
・各学校における防災対策は、防災マニュアルの随時見直しや事前通知なしの訓練など実践的な活動に取り組んでいることは評価できます。今後も地域及び防災担当部局と連携を密にして防災対策の強化を望みます。
・各校とも耐震補強は完了していますが老朽化している施設が多く、設備等の修繕工事費が高んでくると思われます。児童生徒の安全安心、教育環境向上のため積極的な整備推進を望みます。

<p>・一声運動は、校内では成果を上げてきているようですが、みんなで育てる地域の見守り活動推進という点では非常に有効な手段と思います。町民の良識をもとに息の長い運動展開が大切と思います。</p>
<p>・かながわ学びづくり推進地域研究委託事業は、「考える力を育てる、質の高い授業づくり～言語活動の充実～」をテーマに教員の皆さんが積極的に研究参加され、大きな成果を得られたようです。委託事業は終了とのことですが、今後とも町単独事業として各校の研究を継続させ教育力の向上を目指していくことは高く評価でき期待します。</p>
<p>・地域社会とともに生きる力の育成では、課題はあるものの多感な中学生の地区の防災訓練や清掃活動への参加促進など着実に取り組まれており評価できます。</p>
<p>・放課後こども教室の実施（試行）に取り組まれたことは大いに評価できます。会場やサポーターの確保、学童保育との連携・協調のあり方など運営上多くの検討課題もあると思われませんが、豊かな子育てのため平日毎日の子どもの居場所づくりは是非とも必要かと思えます。積極的な取り組みを望みます。</p>
<p>・温水プールについては、細かな努力の積み重ねにより利用実績が向上したことは評価できます。事故が無いよう引き続き安全管理の徹底を願います。</p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>

参 考 資 料

二宮町教育委員会点検及び評価実施規則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、二宮町教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施することに関し必要な事項を定める。

(点検及び評価の実施)

第2条 点検及び評価は、実施年度の前年度における教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、行うものとする。

(点検及び評価の対象)

第3条 点検及び評価の対象は、教育委員会の活動及び二宮町教育委員会基本方針等に基づいて教育委員会が実施する施策等とする。

(評価委員)

第4条 教育委員会は、点検及び評価を透明性及び客観性を持った適正なものとするため、二宮町教育委員会評価委員(以下「評価委員」という。)を置く。

2 評価委員は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 評価委員は2名とし、教育に関して公正な意見を述べる事が期待できる者の中から、教育委員会が委嘱するものとする。

(評価委員の任期)

第5条 評価委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 評価委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(点検及び評価の手順)

第6条 点検及び評価を実施するにあたっては、教育委員会各課がその所管する第3条に掲げる事項について行うものとする。

2 教育委員会は、前項の点検を基に、評価委員の意見を聴いたうえで、教育委員会会議に諮るものとする。

3 教育委員会は、評価委員の意見も含めた二宮町教育委員会点検及び評価報告書を別に定める要領により作成し、二宮町及び二宮町議会へ提出するとともに、町民に公表するものとする。

(点検及び評価結果の活用)

第7条 点検及び評価の結果は、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用するものとする。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育

委員会が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

二宮町教育委員会点検及び評価実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、二宮町教育委員会点検及び評価実施規則（以下「実施規則」という。）に基づいて実施する二宮町教育委員会点検及び評価の具体的な方法について必要な事項を定める。

(評価事項)

第2条 評価事項は、次に掲げる項目とする。

- (1) 教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況
- (2) 教育委員会が管理及び執行している事業並びに教育長に委任している事務のうち、重点施策及び主たる取り組み
- (3) その他、教育委員会が特に記載するもの

(評価の観点)

第3条 評価の観点は、教育委員会の行う活動として適正か、目標とする効果が得られているか、コスト意識を持って取り組んでいるかを主たる観点とし、総合的に評価する。

(評価の基準)

第4条 点検評価においては、評価の観点を元に、評価対象について、次の区分により評価する。

評価	評価基準
A	目標とする成果が得られた。 または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B	おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C	取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D	取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

(報告書の作成要領)

第5条 実施規則第6条第3項に基づき作成する二宮町教育委員会点検及び評価報告書（以下「点検及び評価報告書」という。）は、教育委員会の活動状況点検評価シート（別紙1）及び教育委員会事務局の活動状況点検評価シート（別紙2）により作成するとともに、次に掲げる項目について掲載するものとする。

- (1) 点検評価対象年度の教育委員会基本方針
- (2) 点検評価対象年度末時点の教育委員の一覧
- (3) 第2条で定める評価事項に関する項目
- (4) 評価委員からの点検及び評価意見

(公表)

第6条 点検評価の町民への公表については、点検及び評価報告書を公告するとともに町ホームページに掲載することにより行う。

(その他)

第7条 この要領の実施にあたり、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
教育委員会議の実施状況		
成果・課題	評価・所見	

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
学校訪問等の活動		
成果・課題	評価・所見	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
成果・課題	評価・所見	

平成 27 年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書

(平成 26 年度事業分)

発行 / 平成 27 年 10 月
二宮町教育委員会
〒259-0196
神奈川県中郡二宮町二宮 961
TEL 0463-71-3311 (代表)